

★★ The Future We Want

AYAKA ISIBASI

Name : 石橋 彩伽 Age : 11 Date : 5/9

私が望む未来は、生物、自然が幸せで、豊かな未来である。
私が住んでいる国には、私の望む未来の手本となってほしいと
思う。では、「幸せとはいったいなんだろう」ということを考えていきたい。
私は5~6歳のころオーストラリアに行ったことがある。ホテルにと
まっているとき、好奇心でマヤの外にでてみた。すると、外
からは「きつ」か、あ外ないようになっていたらしく、入れなくな
りました。どうしようかとまどっている自分にある男の人が
私に声をかけてくれた。言葉は、つづいなかたけれど、「何外
安心できた。」のように、思いやりの心をこめて、「声をかける
ことは、笑顔をつくるつまり、人を幸せにする力があるのではないた
ろうか。」

次に幸せになるためには、自然も必要なのではないかと思う。
自然はもちろん品種改良などをしていない本物の自然である。
自然を見ることにより、ストレスがぬけリフレッシュできることは、幸
せではないかと思う。

これまで説明した人間が幸せになるために、私は、人に、少しでも
笑顔になるために、あいさつや思いやりの心をもとうと
思う。しかし、地球生物のうち、人間のみが幸せになっても

★★

***** The Future We Want

いずれその幸せは、空想のつかのまの幸せとなり、くずれてしまう
と思う。

今、生物、植物を幸せからおいや、ている例は、たくさんあり
すぎてかけないと思う。動物園や植物園、公園をつくら、
「幸せ」をわけあたえてもら、ているのにもか外わらず、「里山」
を「ハゲ山」にして、生、物、自然から「幸せをうば、っている。どう
ゆ、か「自己中心」なのか気がしれない。だから、「私の望む
未来」には「生、物、自然が幸せ」ということは、
必、要不可欠なのだ。今、「幸せ」とうば、われている生物、
自然につぐないをしたい。

これらの未来を実現するために人々は、自分たちも「自然
の一員なんだ」ということを自覚するべきだ、だ、と思う。
「その自覚はも、っているか当然では？」と思うかもしれない。
しかし、その「自覚も、ていないから自然、環境はかいい
というひ、れつな行、動をするのではないだ、らうか。「自覚」
することにより自然がおし、えることは、一番大切なことであり
自然とは、守り合、うべきであり、自然と共存することが必要
だ、ということを感じてほしい。

自然と共存しても人間どうして共存しなければい、み
はない。だから、私は、笑顔で人にせ、して小さな

***** The Future We Want

幸せをプレゼントしてあげていきたい。そうすれば、
戦争や紛争が和解決し、奪い争い命がなくなることも少
くなる。それがいつか常識になって、みな幸せになり
地球市民が幸せのかたまりになればいいと思
う。そのために、自分が小さな幸せをわけ合いたい。
以上、私の「The Future we want」である。
読んでくれてありがとうございます。